

6/20 緑のカーテンで夏を涼しく



協力しながらの設置作業(仮設住宅旭)

横芝光町のボランティア団体「食と緑とカーボンオフセットを考える会」と旭農業高校生産技術科の生徒たちが、夏の節電のため、ゴーヤを使った緑のカーテンを仮設住宅旭に設置しました。

生徒や入居者は「食べられるし、環境のためにもなって一石二鳥だと思う」などと話していました。また7月13日には、仮設住宅飯岡にも設置されました。

7/1 岩瀬紘一さん・齋木龍恵さんが人権擁護委員に再任



岩瀬紘一さん



齋木龍恵さん

法務大臣の委嘱により、岩瀬紘一さん(後草)と齋木龍恵さん(蛇園)が7月1日付けで人権擁護委員に再任されました。

人権擁護委員は、毎日の暮らしの中で起こる人権に関するさまざまな問題を解決するため、皆さんの相談に応じます。

7/2 地域でチャリティー「子供おまつり広場」



PTAバザーは掘り出し物?がいっぱい

ひがた駅前スタンプ会や地元小学校のPTAなどによる震災チャリティーイベントが、干潟小学校体育館前で行われました。会場には大勢の子どもたちや親子連れなどが集まり、バザーや金魚すく

い、ゲームなどを楽しんでいました。

7/6 響く日本の音色



指先に集中しながらの演奏

琴の演奏を通して、日本の楽器に触れ合う音楽の授業が、琴の先生たちを迎えて矢指小学校で行われました。児童たちは「さくらさくら」を演奏し、日本の楽器の持つ響きや旋律、演奏方法など、積極的に質問していました。琴の先生は「みんな、すごく上手でびっくりしました」と話していました。

手つなぎ遠足

手をつなぎ目指す高台



互いがしっかりと手を握り歩きました

飯岡小学校で、大津波を想定した避難訓練が6月20日に行われました。高学年と低学年の児童がペアになって手をつなぎ、海拔約25m地点の飯岡灯台下まで、約1.4kmの避難経路を確認。「手つなぎ遠足」と名付けられたこの訓練は、震災直後、東北地方の小学校で、低学年の児童が泣きじゃくり動けなかったのを、6年生らが手をつないで落ち着かせ、無事に避難できたことを做ったもの。途中、1年生が「疲れたよー」というと「ほら、頑張って!」と手を引く6年生の姿がありました。

保育所七夕祭り・夏祭り

祭りだ「わっしょい!」人気の踊りも



「わっしょい!」女の子も頑張ります(まんざい保育所)



子どもたちに大人気「マル・マル・モリ・モリ」(中央第二保育所)

7月上旬から各保育所で、七夕祭りや夏祭りが行われました。先陣を切ったのは、7月7日の中央第二保育所とまんざい保育所。第二保育所は願いを込めた短冊の下、みんなで歌ったり、踊ったり……。まんざい保育所では、みこしを担いだり、家族と一緒に水ヨーヨー釣りや輪投げなどを楽しんだりし、どの保育所も笑顔がいっぱいでした。



地域の安全・安心に向け、熱弁を振るう講師の平間会長

市は、市民の一人一人が防犯意識を持ち、犯罪の起こりにくい、安全で安心して暮らせる町にしようと、毎年7月1日(犯罪の7月1日)を「旭市防犯デー」とし、防犯デーからの1週間を「防犯週間」としました。これを記念した講演会が、7月1日に総合体育館で開かれました。200人以上が訪れ、追加席も用意されるなど盛況だった講演会。防犯対策や鍵破りの手口、防犯機器の説明などが行われ、講師を務めた千葉県防犯設備協会長の平間さんは「あいさつが大事。声を掛けることが犯罪防止につながります。犯罪者は、声を掛けられるのを嫌います」などと話しました。講演会後は、体育館前の国道で関係者らが啓発活動を行いました。



「犯罪のない町にしましょう」と関係者らが呼び掛ける

目指せ！ 犯罪ゼロの町
地域の安全・安心と防犯意識の向上を図る

幽学の里で米作り交流事業

思い出されるふるさとの自然

都市住民との交流を図ろうと、大原幽学ゆかりの水田で行っている米作り体験。その生き物調査と草取り体験が、7月2日と3日に行われました。オタマジャクシを捕っていた親子のお母さんは「こうやっている、子どものときに兄たちと川で遊んだことや、実家のことを思い出しますね」と話しました。また草取りでは、間違っ



「ドジョウすくえたかなー」と網を確かめる親子

人権教室

名前から学ぶ思いやり



授業の最後に、みんなで「ビューティフルネーム」を合唱

中和小学校で7月6日、人権教室が行われました。人権擁護委員の吉野直子さんを講師に迎えて、4年生16人が人の名前をテーマに、仲の良いクラスづくりと明るく元気な学校生活を送ることについて、教材のビデオを見るなどして学びました。授業を受けた児童たちからは「友達ともしっかり仲良くなるために、うそをついたり、悪口を言ったりしないようにしたい」などの感想が聞かれました。